

1. 活動報告（事務局 記）

- 12月13日（日）会員19名が参加し、蓮田の除草及び除去草の撤去、河川横断橋の材料搬入（竹林への通路確保のため）の作業を実施しました。

- 12月19日（土）会員10名が参加し、収穫祭の準備として、もみ台（会議室・調理室）準備、乾燥台（会議室・調理室）準備、バーナー・餅つき機準備の作業を行いました。

- 12月20日（日）収穫祭の最後の行事として、餅つきを会員のみで行いました。親子自然観察隊は解散式で、親12名・子12名が参加し、餅のパックを渡しました。二俣瀬子ども会はしめ縄作りなどの行事があり、餅のパックを渡しました。餅つきの参加者は、会員27名、地元女性3名、市関係者3名の計33名でした。その後、来年の行事等を話し合い、稲作は中止、たんぼの用途は様子見とする。観察隊は土曜日、維持活動は日曜日に実施する計画で案を作ります。

- 12月23日（水）来年度ビオトープ南側の竹林について活動の一部として懸案中であった須賀河内川の渡しとして丸田橋を製作しました。原田会長、辻野会員、岡崎さん（支援センター）、吉部北部支援センターの4名が参加しました。

- 12月26日（土）会員11名が参加し、湿地内の丸太除去および湿地帯土留めとしての設置、埋設塩ビ管の補修、竹を用いた護岸補修、ため池の除草、雑木の焼却、ビオトープ周辺の測量作業の作業を実施しました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎行事

- 1月3日（日）正月休み
- 1月17日（日）維持活動（エコアップ）

3. 来訪者の声

今回はありません。

4. 会員の声 【 今年度の事(課題) 】 (田村 勝芳 副会長 記)

今年度の活動も終わりましたが、創立20周年記念イベントを盛大に開催出来たことは喜ばしい限りです。135名の参加者を集めて昔の農具体験やしめ縄作り、石臼を使ってきな粉作りなどの行事が行われました。この準備のため早くから計画をした原田会長や関係者の方々に感謝します。

8月には新しく改造された水車の通水式も行われて里山ビオトープ二俣瀬をつくる会も地域の活動が継続していける事を会員で考えていきたいと思えます。

12月20日には収穫祭が集会所で開催されて餅つきがあり33名の参加者でした。

「会員の声について 編集責任者より」

会員の声の原稿が上手く集まりません。各自にお願いの声を掛けるのですが、ほとんどの方が辞退されます。バトンリレー形式で次の人を指名するなどもしましたが、これも途中で尻切れトンボ状態で続きませんでした。各自、ビオトープへの何らかの思いはあるはずで、思われたことを、難しい言葉を使わずとも、ストレートに言葉にしてほしいと思えます。原稿は、メールが一番良いのですが、書き物でも結構ですので、ぜひ、一言でも寄せていただくと助かります。よろしく願いいたします。

来年は、コロナウイルスも終息し、いつも通りの活動が、和気あいあいと出来ることを願って、今年のご協力に感謝いたします。皆様、良いお年をお迎えください。

5. 親子自然観察隊 「 収穫祭、解隊式 」 （管 哲郎 記）

親子自然観察隊今年最後のイベント、稲作体験収穫祭（餅つき）と解隊式を12月20日（日）に二俣瀬ふれあいセンターで行いました。お天気は上々でしたが、昨年よりは気温が低く、朝の気温マイナス4℃という寒さの中でお餅つきを行いました、お昼にやっと5℃という気温でした。

今年の収穫祭は「新型コロナ」の影響や、学校行事のため子供会の不参加があり、搗くお餅の数も少なく、テントは張らず公民館の調理室と会議室をお借りしてビオトープ会員だけで餅つきを行ないました。衛生上の観点から、食べ物にはなるべく多くの人がかかわらないように配慮した結果でした。

そのため観察隊の親子は11時の集合とし、12時までの1時間で収穫祭、解隊式を行いました。逆に寒さも少し和らぎ助かりました。

また、通常なら参加者はビオトープ会員のほか、市の関係者、地元のお世話になった方々などを招待して行うのですが、コロナ騒ぎがおさまらず、やむなくゲストなしでビオトープ会員と親子自然観察隊員だけの収穫祭、解隊式となりました。

わずか1時間の収穫祭、解隊式でしたが、高尾会員による「生物多様性クイズ」を行い、お土産などもいただき、収穫祭の“杵つきもち”も家族別に思いのほか多く配布していただいたようで、隊員たちも退屈することなく、親子で楽しまれたようでした。

来年のお米作りはありませんが、「親子自然観察隊」は内容を変更して行うことにしていますので、今日出席していただいた隊員には、来年の継続参加をお願いし、受付しておきました。宇部市の広報記載の準備は済ませましたので、あとは宇部日报社へのPR掲載（来春）とロコミでの隊員募集になります。来季の具体的な予定は確定してはいませんが、「案」は作成していますので、総会までには整えておきたいと思います。

なお、「親子自然観察隊」の運営費用は、入会費と内部保留金額で、大きな買い物をしなければこれまでの実績より判断し、1年間賄えるだけは確保されています。

コロナ騒ぎで1年間振り回されましたが、大きな事故や病気もなく無事、過ごすことができました、皆様のご協力のたまものだと思います。ご苦労様でした。



生物多様性クイズ



解隊式の様子

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(58) ヒメミズカマキリ *Ranatra unicolor* (カメムシ目 水生カメムシ類)

水の中に暮らす水生カメムシも種類が多く、日本ではおよそ 140 種が知られています。水生カメムシは全ての種が捕食性で、口吻が発達しています。中でももっともよく知られている王者はタガメですが、コオイムシ、タイコウチに続きよく知られているのがミズカマキリです。水田や農業用水路、池沼の水中に棲んでいます。

北海道より沖縄まで生息しますが、山口県ではヒメミズカマキリよりミズカマキリのほうが圧倒的に多いようです。水生昆虫類の調査はあまり進んでいませんが、ヒメミズカマキリは絶滅危惧類に指定されるかもしれません。ミズカマキリは体長 40 mm ほどですが、ヒメミズカマキリは体長 30 mm ほどと小さく可愛いです。タイコウチやミズカマキリは尾の先に呼吸管を持っており、ここで空気を吸って呼吸しますが、ヒメミズカマキリの呼吸管は短いので、小さく見えるのかもしれませんが、しかし、全体的に小ぶりですので、すぐわかります。

2017 年と 2018 年の調査でも下関市、美祢市、萩市の 3 か所でしか確認できていません、もう少し調査を進め多く見つかるとういのですが。



萩市産 ヒメミズカマキリ



美祢市産 ヒメミズカマキリ



山口市産 ミズカマキリ

参考文献

- 海野和男、2013. フィールドガイド身近な昆虫識別図鑑. 254pp. 誠文堂新光社. 東京.
野澤雅美、2016. カメムシおもしろ生態と上手な付き合い方. 109pp. 農村漁村文化協会. 東京.
福田晴夫ほか、2005. 昆虫図鑑 採集と標本の作り方. pp. (株) 南方新社. 鹿児島.

7. 会よりの連絡事項

1) 今年度は創設 20 周年の記念事業に ①水車の最終更新工事と通水式 ②稲作体験田植 ③稲作体験稲刈り ④最終イベント(里山の暮らし)と大変な事業の多い中、コロナ禍と重なり厳しい年となりました。いずれも大過なくクリアしそれ以上の維持管理もてきました。各活動日に進んで参加頂いた会員の方々には厚くお礼を申し上げます。

ビオトープは我々の活動に、先を越して進んでいきます、従いまして来年もそれ以上に追い越しと先走りをしなくては、維持管理から見放されていきます。会員の皆様のご協力が必要となっています、今年にもましてよろしくお願ひ申し上げます。

2) 水車の修復は完了しましたが回転具合が今少し不適となっています。来年度はこの水車の回転のスムーズに回ることにお力をお願いします。①給水パイプの水漏れの解決 ②回転の不適の重量バランスのとり直し ③水車水路溝の水漏れ箇所のチェックと修復等が計画されています。

8. 編集後記 (前田 歳朗 記)

先日、夢を見ました。ビオトープでは、多くの若者が作業をしており、活気に満ちています。山裾にロッジ風の長屋があり、みんながそこで作業をしているようでした。私は、ちょっとしたケガをし、松坂慶子さん似の女性に手当てをしてもらっている最中に目が覚めました。まるで寅さんのオープニングですが、夢の中の風景が私の理想なのかもしれません。

しかし現実とは異なります。活動日での参加人数はじり貧傾向にあり、しかも着実に高齢化が進んでいます。会員の参加数はイベントの際は多いのですが、維持管理作業では十人台前半という状況が続いています。このような状況が続けば、完璧な維持管理は不可能です。作業能力に合わせた維持管理を行い、多少の不備は目をつぶらなければなりません。

私が担当するエコアップを例に挙げれば、こうなるでしょう。今まで実施してきた作業に優先順位を付けます。今はやりのトリアージと言わないまでも、各作業を生態系への影響度・作業の難易度・景観等の項目別に評価し、これに時期的な要素を加え総合的な優先順位を決めます。そして、現在の人員で可能と思われる範囲で、優先上位から作業を行います。エコアップ自体も、必要か否かも検討する余地があります。

来年度は、稲作が中止となります。これによって、作業内容がどのように変化するか、注視したいと思っています。中止により余裕ができるのか、それとも今年同様、手いっぱいになるのか。楽しくビオトープの維持活動を行うためには、余裕を持った作業が必要だと思ひます。計画通りにいかなくとも。